



足利志士の会

こ ぬま みつ よ
小沼光代



中橋架け替えにより生まれる 高架下のスペースには屋台村を！

質問

新たに生まれる高架下スペースは観光資源の近くにあることから、小規模のテナントが入る建物を造ることにより、夜間営業の飲食店が軒を連ね、観光客の滞在時間の延長や宿泊につながると考える。小さな店舗で開業できれば創業支援にも資すると考えるがどうか。

回答

高架橋となる中橋通りは県道となり、屋台村の建設には栃木県との協議や道路法に基づく手続きが必要となる。高架下の活用については観光客の滞在時間の延長などにつながる方策であることから、地域の皆様と話し合いを進め、民間活力を導入した施設整備なども視野に入れながら検討していく。

ひと言

宿泊を伴う観光誘客にはおいしい食べ物と夜のまちの賑わいが必要です！



公明党議員会

ふじ もと ひで き
藤本秀樹



ワンコイン浸水センサー設置により、 水害対策を強化せよ！

質問

国は、水に浸かると自動で信号を送るワンコイン浸水センサーの実証実験を進めている。低コストであり、多くの場所への治水対策として期待されていることから、本市においても内水氾濫対策の強化に向けて導入すべきと考えるがどうか。

回答

ワンコイン浸水センサーは、浸水状況を容易に把握する手段として、小型かつ低コストのセンサーを多数設置して浸水情報を収集する仕組みである。現在、国で実証実験をしており、本市も国の説明会に参加している。今後は、国の実証実験の結果や先進自治体の取り組みについて調査研究していく。

ひと言

浸水状況が把握可能なシステムの設置により、有効な水害対策を期待します。



自民プラス

やま もと ひと み
山本仁美



ICT教育の方向性と 今後の取り組みについて問う！

質問

本市の教育DXで使用しているAIドリルの「すららドリル」は、個に応じた問題が出題され、個別最適な学びにふさわしいと考えるが、低学年には使いにくいという声も耳にする。様々な意見が子どもや保護者から出ていると思うが、改善する予定等はあるのか。

回答

AIドリルは、令和5年度の導入後、小中学校全体で利用時間が伸びている。一方で画面に直接手で入力する際、思ったように入力されないことがあるため、メーカーに改善を依頼している。今後も必要に応じて、子どもや学校の声を聞いて改善を行い、基礎学力の向上に努めたい。

ひと言

学力の向上は、楽しいと思える教育環境からです。児童生徒の目線に立った臨機応変な対応と改善を！



会派を構成しない議員

おに くぼ あや こ
鬼久保綾子



足利の土地の使い方を 考えよう！

質問

足利市は一級河川である渡良瀬川が中心に流れ、市域の半分が山間地域である。限られた土地を産業、農業、観光それぞれの分野で生かすためには、具体的な都市の設計図である土地利用計画の策定が必要であると考えるがどうか。

回答

本市では、産業用地候補地として期待される土地の多くは市街化調整区域にあり、関係法令の制限などのため、確保に時間を要してしまう。一方、土地利用計画の策定は必ずしも必要ではないことから、総合計画や都市計画マスタープランなどの中に土地利用に関する考え方を盛り込むことで対応していく。

ひと言

足利市には既に素晴らしい資源があります。特色を生かすことで、素晴らしいまちになると考えます。